

独立行政法人日本貿易保険 決算報告書

(2010年4月1日から2011年3月31日まで)

(単位:百万円)

区分	予算額(A)	決算額(B)	差額(B-A)	備考
収入				
業務収入	14,202	16,073	1,871	
正味収入保険料	10,128	11,075	947	(注1)
正味回収金	1,260	132	△ 1,128	(注2)
受取利息	2,814	4,717	1,903	(注3)
その他業務収入	-	149	149	
被出資財産からの回収金	6,958	433	△ 6,525	(注4)
有価証券の償還等	10,000	46,094	36,094	(注5)
短期借入金	-	-	-	
前年度繰越金	9,373	9,373	-	
計	40,533	71,973	31,440	
支出				
業務支出	19,322	6,288	△ 13,034	
正味支払保険金	14,000	749	△ 13,251	(注6)
人件費	1,373	1,471	98	
国庫納付金	-	-	-	
その他業務支出	3,949	4,068	119	(注7)
投資支出	1,770	1,604	△ 166	
システム開発費	1,700	139	△ 1,561	(注8)
その他投資支出	70	1,464	1,394	(注9)
有価証券の取得	10,000	48,231	38,231	(注5)
短期借入金返済	-	-	-	
その他の支出	2	-	△ 2	
翌年度繰越金	9,439	12,403	2,964	
予算差異	-	3,448	3,448	
計	40,533	71,973	31,440	

(注)金額は、百万円未満の端数を四捨五入して表示しております。

【予算額との差額の主な要因は、以下の通りです。】

- (注1) 当初予定を上回る保険契約高となったことから、予算額を上回りました。
- (注2) 正味支払保険金が少なかった事等により、予算額を大幅に下回りました。
- (注3) 利回りの高い有価証券への買い替え等により、予算額を大幅に上回りました。
- (注4) 債務国からの返済が滞ったため、予算額を大幅に下回りました。
- (注5) 有価証券の買い替え等により、予算額を大幅に上回りました。
- (注6) 予測よりも保険事故が少なかったことから、予算額を大幅に下回りました。
- (注7) 事業費及び一般管理費の減少を図ったものの、その他業務支出は予算額を上回りました。
- (注8) システム開発の絞り込み等により、予算額を大幅に下回りました。
- (注9) システム関連機器等の投資支出の増加により、予算額を大幅に上回りました。